

(様式3)

令和6年度 自己評価結果報告書

学校名 湯梨浜町立東郷小学校

校長名 福田 早由里 印

1. 学校の教育目標

豊かな心で自ら考え行動する、たくましい児童の育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- (1) 学ぶ意欲の向上と確かな学力の向上 (学びの力づくり)
- (2) 支え合い高め合う人間関係づくり (豊かな心づくり)
- (3) 健やかでたくましい心と体づくり (たくましい心と体づくり)
- (4) 地域に根ざし開かれた学校づくり

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 学びの力づくり ① 「わかる授業」の保障 ② 主体的に学び、表現力を育てる授業づくり	B 中間 C	<ul style="list-style-type: none">・単元テスト到達度 知識・技能 85% 思考・判断・表現 67%・教員アンケート 「子どもの発言やノートの記述などをつなげ、全員参加の学習を行いましたか。」 前期 76.5% 後期 88.9%「教員同士、気軽に授業を見合いましたか。」 前期 47.1% 後期 55.6%・児童アンケート 「学校の勉強はよくわかる」 92.4%「友だちや先生に聞こえる大きな声で発表ができる」 75.7%・保護者アンケート 「学校は、分かりやすく子どもが意欲的に取り組む授業や指導に努めている」 93.8%○「東郷小学校 話す・聞くポイント」を活用し、児童同士の発言をつなぐことを意識して授業を行った。○ペア、班のグループなど学習形態を効果的に生かした授業が増えてきた。さらに、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、グラフや図などを工夫して発表できるよう児童主体の授業を行っていきたい。○授業参観ウィークを設定し、授業を見る機会を設けた。見合うことの目的を明確化することでさらに授業力を上げていきたい。

(様式3)

		<p>○ICT活用が日常化し、「タブレットを使った学習はよくわかる。94.1%」の数値に表れている。</p> <p>○タブレットを家庭に持ち帰って学習できる体制や明日の予定をタブレットで行う試行を全学年で行った。</p>
<p>(2) 豊かな心づくり</p> <p>① 児童が安心して生活・学習できる学級づくり・集団づくり</p> <p>② 特別支援教育・生徒指導・教育相談による連携の徹底</p>	<p>B 中間 B</p>	<p>・hyper-QUの結果を見ると、親和的な仲間づくりができている学級が多い。学年同士で相談しているが、「学年部(低・中・高)」というくくりも活用しつつ、放課後の情報交換、指導法の工夫等を定期的に行い、教職員のスキルアップに努めたい。 (*教職員の同僚性を高める。)</p> <p>・教員アンケート 「信頼関係を作るために、子ども一人一人と対話ができましたか。」前期、後期 100%</p> <p>「児童や保護者に関する事案について、早期に報告・連絡・相談ができましたか。」前期、後期 100%</p> <p>・児童アンケート 「学校には、なかよしの友だちがいる」93.7%</p> <p>「友だちに「ありがとう」や「ごめんなさい」が言える」97.2%</p> <p>・保護者アンケート 「学校は、子ども一人一人を大切にし、認め合う学校づくりを進めている」92.5%</p> <p>「学校は、子どものことに関する相談ごとや連絡など、家庭と意思疎通を図っている」95.0%</p> <p>○人権教育で取り組んだ「心の声を届けよう」の取り組みが子どもたちの心を育てる一助となっていると思われる。</p> <p>○児童との信頼関係をつくるために、教師が子ども一人一人との対話を大切にすることが一つの要因と考えられる。学期はじまりの前に行う学級づくりのための作戦会議や放課後の学年団を中心とする情報交換を継続することで、さらに学級集団づくり、仲間づくりを高めていきたい。</p> <p>○保護者アンケート「学校の様子」ではすべての項目で肯定的な回答が9割をこえた。児童や保護者に関する事案について、早期に報告・連絡・相談を行い、組織としての連携を密にして取り組めたことが要因として考えられる。</p> <p>○一部に落ち着きがない児童が見られる。終礼・職員会の最後に行う児童理解の時間を活用して、対象児童の現状や対応、教職員のかかわり方について共通理解する。また、必要に応じてケース会議を開き、生徒指導・教育相談・人権教育・特別支援教育担当者等の関係者が連携し、外部機関の力も借りながら、対応を考えていきたい。</p>

(様式3)

<p>(3) たくましい心と体づくり</p> <p>① 基本的な生活習慣の定着に向けた取組</p> <p>② 運動に親しみ、健康と体力の向上を図る</p>	<p>B 中間 C</p>	<p>・教員アンケート 「業間運動に取り組めましたか。」 前期 82.4% 後期 94.4% 「生活チェックの結果を、学年・学級での指導に生かしましたか。」 前期 70.5% 後期 72.1% 「姿勢ピン運動に取り組めましたか。」 前期 58.8% 後期 50%</p> <p>・児童アンケート 「天気の良い日は、休憩時間、外で遊んでいる。」 66.4% 「夜〇時まで寝ている」 80.2%</p> <p>・保護者アンケート 「お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんなど、正しい生活習慣が身についている。」 76.4% 「学校は、業間運動や陸上クラブなどの教育活動で、子どもの体力を育てている。」 98.8%</p> <p>○業間運動の確実な実施を呼びかけた成果。今後も学校全体で当たり前に業間運動に取り組む雰囲気をつくっていききたい。 ○指導に生かしやすいように、生活チェックの項目を差し替えた。就寝時刻、寝る1時間前ノーメディア、髪など、生活チェックを活用しながらルールの定着を図ることができている。 ○姿勢ピン運動は、児童・職員ともに、取り組みが十分に浸透していなかったことが原因だと考えられる。動画を作成して各学級担任に配付したり、児童会と連携して全校で取り組んだりした。また、業間運動に限らず、様々な場面で活用するように周知を図った。</p>
<p>(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり</p> <p>① 「ふるさと東郷」における体験活動・表現活動の充実</p> <p>② 地域人材活用により地域に学ぶ教育活動の充実</p>	<p>A 中間 A</p>	<p>ふるさと教育の充実・域人材活用 ○ボランティアやゲストティーチャーに来ていただき、学習が深まった。(別紙参照)</p> <p>・(5, 6年生) 学習アンケート 「地域の方が学習に参加することにより、学びが深まると思いますか」 R5 91.8% R6 97.3% 「みなさんがくらす東郷地区は好きですか」 R5 98.8% R6 99.1%</p> <p>○「ミシン学習・調理体験」「登校見守り隊」「マラソン記録会」「町たんけん」「梨づくり」「やきいも」「カヌー」など多くのボランティアの方に関わっていただくことで、児童の学びが深まっていると言える。今後も、地域の特色を生かした活動を継続して取り組んでいきたい。 地域のよさを学ぶ機会や地域の方と関わるが多いことは、児童がふるさとを大切にす気持の育成につながっている。</p>

(様式3)

「評価」の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<p>(1) 児童は、家庭科教育を中心として、自分の生活を見つめ、課題解決に向けて学習に取り組む意欲が高まった。研究推進についても、研究主任を中心に年間計画を作成し、1人1回学習公開、専門部会（授業実践部、校内環境部、ふるさと教育部）で実践の積み上げを行った。</p> <p>学力の保障については、学力差の実態について児童一人一人に対するきめ細やかな指導のもとに、更なる基礎学力の向上を図っていくことが必要である。</p> <p>(2) 対話を重視した信頼関係づくりや取組の共有を行った。生徒指導や特別支援教育、教育相談による視点を重視し、児童の丁寧な関わりや指導を行い、児童や保護者とのよりよい関係づくりを進めていく。担任だけでなく、複数の職員で児童のよさを見取っていく必要を感じる。</p> <p>(3) 寝る時間・メディアの時間については、今後も保護者とともに徹底していきたい。</p> <p>(4) 成長過程に必要な体験・交流、それに伴う安全の保障を、今後も地域やボランティアの力を借りながら継続・向上を図りたい。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
(1) 基本的な生活習慣 ・家庭内での寝る時間・電子メディアの時間 ・早寝・早起き・朝ごはん (10分早く起きよう等)	① 児童への周知・指導（全校・学年・学級で、G Tによる情報モラル教育） ② 保護者への周知・啓発（P T A総会、P T A講演会、学校だより、保健だより、学年・学級だより） ③ P T A保体部と共働した取り組み
(2) 授業改善 ・「わかる授業、全員参加」を意識した授業改善 ・子ども主体の学習	① 資料、文字、式、図を用い、多様な方法で表現し伝え合う児童の育成。 ② 児童一人一人の学びの充実のための全員参加の授業づくり（ペア、トリオ、班活動等）
(3) いじめ、不登校、危機管理の徹底	①初動対応の研修 ②特別支援教育・生徒指導・教育相談による連携の徹底 ③効果的なケース・支援会議、関係機関との連携